

普及技術
分類名〔野菜〕

普 4	高品質で収量性に優れるセリ新品種「Re14-4」
-----	--------------------------

宮城県農業・園芸総合研究所

要約

セリ新品種「Re14-4」は、従来品種より1株重が重く、基部茎径が太く、葉色は濃緑色で品質が高い。また、分けつやランナーの発生が少ないため、調製時の廃棄率が約40%と低く、単位面積当たりの収量の増加が見込める。

普及対象：セリ生産者（経営規模10a程度）
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

セリ栽培において、宮城県は県内作付面積(29ha)及び出荷量(415t)全国1位である(農林水産省「平成30年産地域特産野菜生産状況調査」より引用)。しかし、近年は県内産地での生産者の高齢化や農地周辺の宅地化に伴い、作付面積は減少傾向にあり、作業性の向上や単位面積当たりの収量の増加が課題となっている。そこで、従来品種より高品質で収量性に優れたセリ新品種「Re14-4」を開発したので普及技術とする。

2 普及技術**(1) 育成過程**

平成26年に「島根みどり」由来の培養個体396個体の中から外観形質が良好かつ収量性に優れた2系統を選抜した。このうち、平成28年～平成30年にかけて実施した所内試験及び県内産地における現地試験で、現地慣行品種より株太りがよく、調製時の廃棄率の低い「Re14-4」を選抜し、令和2年3月に品種登録出願を行い、同年6月に品種登録出願公表された(品種登録出願番号第34599号)。



図1 「Re14-4」の形質(I：収穫物，II：複葉，III：根)と対照品種との比較(IV，左：「みやぎVWD1号」，右：「Re14-4」)

注)スケールバー=10cm

(2) 特性の概要**イ 外観形質**

(イ) 収穫時の草姿は‘立性’で収穫の早晩性は‘晩生’，草丈は対照品種よりやや低い(図1，表1)。

(ロ) 調製後の1株重で比較すると，「島根みどり」より6.2g重く，「みやぎVWD1号」より7.0g重い(表2，表3)。

普及技術4 高品質で収量性に優れるセリ新品種「Re14-4」

(ハ) 収穫時茎径は‘太’で対照品種より 2.3~2.8mm 太く、調製後の基部茎径で比較しても「島根みどり」より 3.4mm 太く、「みやぎ VWD1 号」より 4.0mm 太い(表 2, 表 3)。

(ニ) 葉色及び葉柄色は‘濃緑’で、対照品種よりも濃い緑色を呈する。また、根は‘太’で対照品種より 0.6mm 太い(表 1)。

ロ 収量性

(イ) 「島根みどり」と比較して、調製前重量は 0.7kg/m²、調製後重量は 1.3kg/m² 重く、廃棄率は 14.4 ポイント低く、a 当たりの換算収量は 130kg 多い(表 2)。

(ロ) 「みやぎ VWD1 号」と比較して、調製前重量は 1.4kg/m²、調製後重量は 2.4kg/m² 重く、廃棄率は 20.5 ポイント低く、a 当たりの換算収量は 232kg 多い(表 3)。

ハ 増殖性

(イ) ランナーは生育初期から発生するが、1 株当たりのランナー数は対照品種より 9.6~16.3 本少なく、1 株当たりの総節数は 163~243 節少ない。また、抽だいの早晩性は対照品種と同じく中生で、花色は白色である(表 1, 表 4)。

3 利活用の留意点

(1) 「Re14-4」は、令和 2 年 10 月から県内生産者へ親株の配布を開始している。苗の配布に関する問い合わせは、宮城県農政部 園芸推進課 園芸振興班(電話 022-211-2843)まで。

(2) 親株増殖時のランナーの発生数及び総節数は対照品種より少ないため、種セリを確保するためには約 1.5~1.8 倍多く種田に作付する必要がある(表 1, 表 4)。

(3) 病害抵抗性及び虫害抵抗性が無いため、種田、本田共に適宜防除に努める。農薬は「せり」、「せり科葉菜類」、「野菜類」を対象に登録されていることを確認のうえ使用する。

(問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所野菜部 電話 022-383-8124)

4 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 試験研究課題名及び研究期間

本県に適した特徴ある園芸作物のオリジナル品種育成 (平成 26 年~平成 30 年度)

みやぎオリジナル品種育成 (平成 31 年~令和 5 年)

宮城県「普及に移す技術」第96号（令和2年度）

(2) 参考データ

表1 特性一覧

調査地		育成地（農園研）				
調査年次		平成29年～平成31年				
品種名		Re14-4	対照品種 島根みどり みやぎVWD1号			
収穫時	草姿	立性	立性	立性		
	収穫の早晩性	晩生	中生	中生		
	草丈(cm)	中(46.5±4.8)	高(54.1±5.1)	高(53.6±3.2)		
	葉	葉数(枚)	中(6.0±0.1)	中(5.5±0.2)	中(6.0±0.2)	
		葉色	濃緑	淡緑	淡緑	
		小葉	小葉数(枚)	中(40.6±0.5)	中(41.6±0.6)	中(42.3±0.5)
			着生角度	広	中	中
		欠刻	深さ	浅	浅	浅
	多少		中	中	中	
	葉柄	太さ(mm)	中(6.0±0.7)	中(4.6±0.7)	中(4.3±0.7)	
		長さ(cm)	中(40.3±4.1)	中(49.7±5.2)	中(48.7±4.2)	
		色	濃緑	緑	緑	
収穫時茎径(mm)	太(10.5±1.7)	中(8.2±1.4)	中(7.7±1.1)			
根の太さ(mm)	太(2.0±0.2)	中(1.4±0.2)	中(1.4±0.2)			
親株増殖時	ランナー	発生の早晩性	早	早	早	
		発生数	少	中	中	
	抽だい早晩性	中	中	中		
	花色	白	白	白		
その他	耐低温性		中	中	中	
	病害抵抗性	さび病	中	中	中	
		葉枯病	弱	弱	強	
	虫害抵抗性		中	中	中	

注1) 収穫時：平成29年12月14日，平成30年11月8日に調査，親株増殖時：平成29年9月14日，平成30年9月11日に調査

注2) 収穫の早晩性：草丈が30cm以上になる時期で判断

表2 品種が収穫物品質と収量に及ぼす影響(平成29年・名取市上余田)

品種名	調製前重量 (kg/m ²)	調製後重量 (kg/m ²)	廃棄率(%)	調製後品質			換算収量 (kg/a)
				草丈(cm)	1株重(g)	基部太さ(mm)	
Re14-4	6.6	4.2	36.4	41.4±2.1	15.5±3.4	10.9±2.7	418
島根みどり(対照)	5.9	2.9	50.8	43.7±2.0	9.3±1.9	7.5±1.2	288
対照との差	0.7	1.3	14.4	2.3	6.2	3.4	130

注1) 催芽開始：平成29年9月8日，植付：9月22日，収穫調査：11月7日，植付量：現地慣行

注2) 施肥：基肥を窒素換算で1.7kg/a施用

注3) 廃棄率：廃棄物重量(調製前重量－調製後重量)/調製前重量×100で算出

注4) 調査株数：20株反復無し，換算収量：調製後重量(kg/m²)を参考にして算出

表3 品種が収穫物品質と収量に及ぼす影響(平成30年・石巻市河北)

品種名	調製前重量 (kg/m ²)	調製後重量 (kg/m ²)	廃棄率 (%)	調製後品質				換算収量 (kg/a)
				草丈(cm)	1株重(g)	葉数(枚/株)	基部太さ(mm)	
Re14-4	9.1	5.3	41.8	44.7±1.7	22.0±3.9	2.5±0.2	13.1±1.3	525
みやぎVWD1号(対照)	7.7	2.9	62.3	52.5±4.8	15.0±3.6	2.0±0.5	9.1±0.8	293
対照との差	1.4	2.4	20.5	7.8	7.0	0.5	4.0	232

注1) 催芽開始：平成30年9月4日，植付：9月14日，収穫調査：12月21日，植付量：現地慣行

注2) 施肥：基肥を窒素換算で1.0kg/a施用

注3) 廃棄率：廃棄物重量(調製前重量－調製後重量)/調製前重量×100で算出

注4) 調査株数：20株反復無し，換算収量：調製後重量(kg/m²)を参考にして算出

普及技術4 高品質で収量性に優れるセリ新品種「Re14-4」

表4 品種が増殖時形質に及ぼす影響(平成29年・所内)

品種名	ランナー長(cm/本)	節数(節/本)	ランナー数(本/株)	総節数(節/株)
Re14-4	178.5±18.6	16.4±2.4	18.7±3.1	307
島根みどり	213.4±20.0	16.6±2.0	28.3±2.1	470
みやぎVWD1号	188.1±21.7	15.7±2.9	35.0±2.6	550

注1)各品種3株をプランター(45cm×15cm)に移植しランナー増殖，調査日：平成29年9月14日

注2)使用培土：日肥園芸培土1号，生育に応じて適宜液肥を施用

注3)調査ランナー数：30本(10本/株×3株)，総節数：節数(節/本)×ランナー数(本/株)で算出

(3) 発表論文等

イ 関連する普及に移す技術

(イ) イムノクロマト試験紙を利用したセリ感染ウイルスの診断 (第96号指導活用技術)

ロ その他

(4) 共同研究機関

なし